

令和7年度 岡崎市子育て支援事業 関連報告書

2026年3月10日（火）NPO法人ファザーリング・ジャパン 杉山錠士

【事業概要】

▶ 背景：

令和4年度に「Urban Innovation OKAZAKI」を通じた岡崎市の子育て環境に関する協働事業の実証実験を経て令和5年に始まった、岡崎市とNPO法人ファザーリング・ジャパンによる岡崎市の子育て環境、及び現役子育て世代を盛り上げる施策の3年目。

▶ 目的：岡崎市の子育てを盛り上げること

→令和7年度は昨年度以上に「パパの活躍」に繋げるため、より具体的な家事育児メソッドを伝えることに主眼を置いて計画、実施しました。

▶ 主な実施内容の全体像

- ①主に岡崎市で子育て中のパパを対象に「おかざきパパマイスター」（第3期）を養成する連続講座の実施、及び参加者コミュニティの運営
- ②令和5年度・6年度に「おかざきパパマイスター」に認定されたメンバーが運営する公園等でパパたちがこどもと遊んで交流する企画「PAPATOパークおかざき」の開催（全4回）
- ③おかざきパパマイスターによる岡崎市内高校出張授業（愛知産業大学三河高等学校）
- ④出産前、プレパパの段階からの家事・育児参画を啓発するため
令和5年度に制作した「パパって最高！～岡崎市版父子手帳～」の2度目のリニューアル
- ⑤岡崎市の子育て世帯を対象としたアンケートの実施。及び、子育てイベント内で市民に結果を公表し、参加型ワークショップ方式で意見を募る
- ⑥NPO法人ファザーリング・ジャパンの提携メディア「パパするべ」にて取組を記事化して公開

【事業①おかざきパパマイスター養成講座関連】

【事業概要】

- ▶ 目的：講座で学んだ知識を活かして、市内で行われるイベントのサポートをしたり、パパ同士で一緒に遊んだり、学んだり繋がったり。子育ての悩みや楽しさを共有しながら、岡崎市のパパを盛り上げ、パパもママもみんな子育てを楽しめる環境づくりを目指す活動をする「おかざきパパマイスター」を養成すること。令和7年度は第3期メンバーの養成を行いました。
- ▶ 日時 第1回 2025年8月30日（土）13:30~16:00
パパが育児を100倍楽しむ方法 ～パパが子育てするために必要な心構え～
講師：小崎 恭弘 氏（大阪教育大学教育学部教授・NPO法人ファザーリング・ジャパン顧問）
第2回 2025年9月13日（土）13:30~16:00
パパ必聴！現役歯科医師ラッパーが教える“親子のお口と健康トラブル攻略テクニク”
講師：小安 正洋 氏（歯科医師・歯学博士・中目黒コヤス歯科医院院長）
第3回 2025年10月11日（土）13:30~16:00
イクメンの星が伝える！寝かしつけの極意とパパママの質のいい睡眠術
講師：伊藤 翼 氏（日本人男性初IPHI乳幼児睡眠コンサルタント・厚生労働省認定『2020イクメンの星』NPO法人育Qひろば代表）
第4回 2025年11月15日（土）9:30~12:00 ※おかざきパパマイスター認定式
家族の自己肯定感をグッと高める子育て方法 ～ハッピーな未来を描くために必要なこと～
講師：杉山 錠士 氏
（パパ向け子育て情報サイト「パパしるべ」編集長・NPO法人ファザーリング・ジャパン会員・アドラー心理学ELMリーダー）
- ▶ 実施場所 図書館交流プラザ りぶら （岡崎市康生通西4丁目71番地）
- ▶ 協力 りぶらっこ☆ふぁみりー めりーさんのお家 産後ケアママイル（いずれも岡崎市内で活動する子育て支援団体）



【事業①おかざきパパマイスター養成講座関連】

【実施報告】

▶ 3年連続で募集定員オーバー！プレパパの応募が増加！

募集定員が連続受講20名、各回単独受講20名の中、今年度も連続受講の申し込みは25名となり3年連続で定員を超え、全員に受講いただきました。
今期は約25%が出産を控えたプレパパであり、また岡崎出身の受講者が半数を超えました。

■参加者数

第1回：49名	男性27名	(連続19名 単独8名)	女性16名	第1・2期マイスター6名
第2回：36名	男性20名	(連続19名 単独1名)	女性11名	第1・2期マイスター5名
第3回：41名	男性22名	(連続19名 単独3名)	女性14名	第1・2期マイスター5名
第4回：34名	男性20名	(連続17名 単独3名)	女性10名	第1・2期マイスター4名



第3期は20人の
おかざきパパマイ
スターが誕生しました！



▶ 「おかざきこそだて会議2025」で講座受講生が活躍！

12月13日（土）に行われた「おかざきこそだて会議2025」（事業外）では第3期受講者有志を中心に企画運営された「パパとこどもの遊び場」やステージでの「菓子まき」などで来場した親子に楽しい時間を提供しました。



全力で「菓子まき」を
するパパたち！
こどもたちも大喜び！

▶ 新スポットの情報にも敏感！受講生によるLINEグループで情報交換が活発に！

第1期・第2期に続き、連続受講生はLINEでグループを作成し、講座に関する情報はもちろんのこと、岡崎市内や近隣の子育てイベント、新しくオープンしたスポットに関する情報交換などが行われました。
 ⇒講座終了後も有志で集まるなど、活動はさらに活発です！



LINEグループ内では
プレオープン時の
「アウトレット岡
崎」の最新情報も共
有されていました！

▶ 岡崎市版父子手帳に「先輩パパ」の立場で参画！

リニューアルした「パパって最高！岡崎市版父子手帳2026」の中には第2期のパパマイスターに加え、第3期のパパマイスターより先輩パパからのメッセージを届けてもらいました。

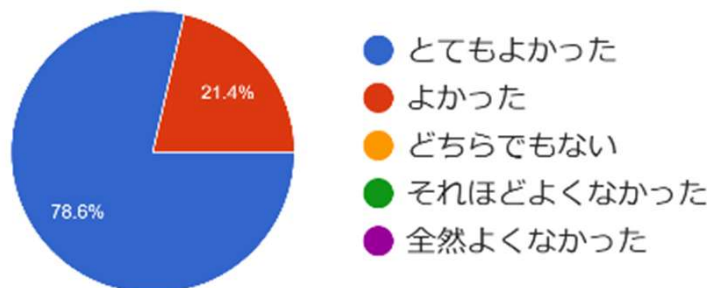


【事業①おかざきパパマイスター養成講座関連】

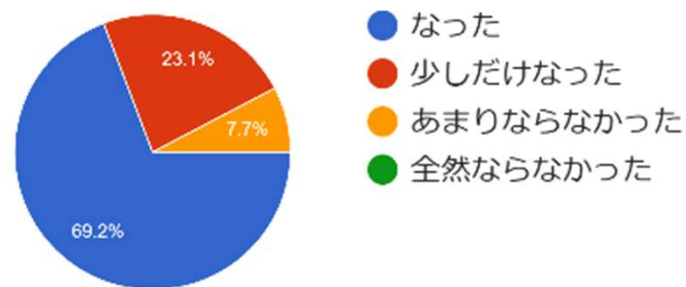
【実施後アンケート】

- ▶ 3期連続で講座満足度100%！
今期もパパたちの積極性もアップ

Q.講座を受けてよかったですか？

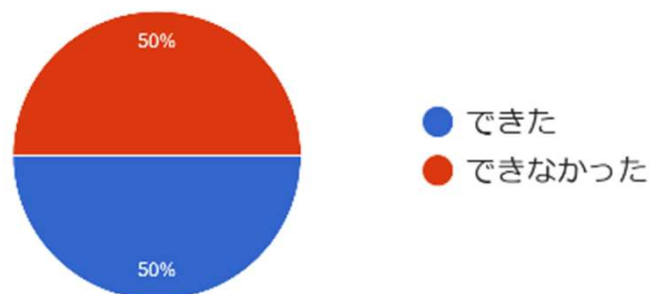


Q.講座を受講してこれまでより家事・育児に積極的に取り組むようになりましたか？



- ▶ パパ友ができたパパは5割。
パパの交流促進には課題も見られました。

Q.講座を通じてパパ友はできましたか？



- ▶ Q. どうしたらもっとパパ友ができると思いますか？

第1位 講座以外で集まる機会（懇親会や交流会など）を設ける（61.5%）

今年度、パパから届いた声。

- ▼昼の懇親会を設定することで参加しやすくなる方もいるかもしれないと思いました。
- ▼懇親会は理解ある家族なら参加可能だが、妊婦さん、こどもが小さく家から離れる事自体が困難な方もいるのかと思う。会の中で、パパ友作りの時間があるといいかも。
- ▼個人的には懇親会は別日だと参加しやすかった。土曜は妻が仕事なので。

以前からこのような声があったので実施している

「PAPATOパークおかざき」がより充実することがポイントになりそうです。

【事業②PAPATOパークおかざき】

【実施報告】

- ▶ おかざきパパマイスターの活躍の場を広げるため
また、夜にパパだけで行う懇親会には参加しにくい
パパも交流できる事業として展開しています。

週末に子育て世代が集まる東公園やげんき館で、
第1期・第2期おかざきパパマイスターの中から有志が集まり
その場にいるパパママも巻き込んで
親子みんなで遊びながら交流を深める企画です。

■実施日程

第1回：5/10（土）10:00～12:00 @げんき館
第2回：9/7（日）10:00～12:00 @げんき館
第3回：10/18（土）10:00～12:00 @東公園
第4回：11/15（土）14:00～16:00 @東公園

- ▶ 新しい取り組みをパパが考案！

より多くのパパに参加してもらい、
継続的に遊びに来てもらうために、
読み聞かせやスタンプラリー、アンケートの実施など
有志のパパたちがアイデアを出し合い始めた
様々な取り組みが好評でした。

- ▶ おかざきパパマイスターをはじめ、岡崎市が
パパたちや子育て環境を応援していることのPRになりました！



多くのパパが
アンケートに協力して
くれました！

今年度からは
パパの読み聞かせも
スタート！

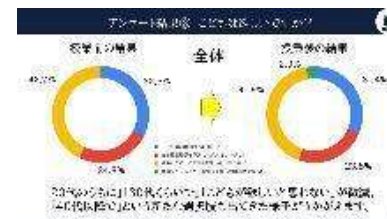
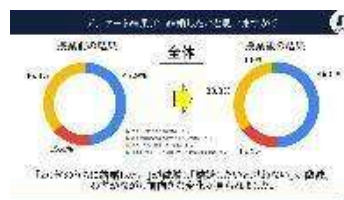
定番のシャボン玉も
大人気でした！



【事業③おかざきパパマイスターによる 岡崎市内高校出張授業】

【高校出張授業】

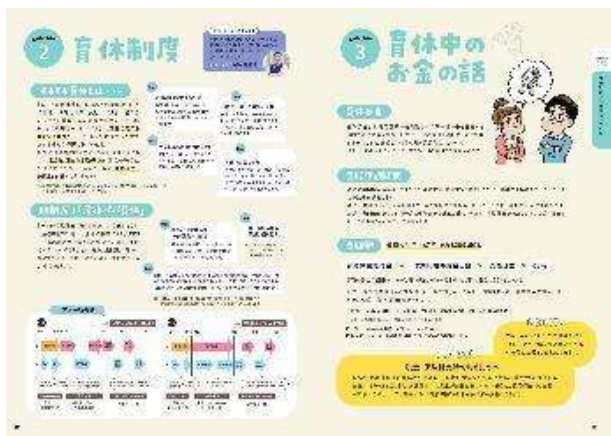
- ▶ 目的：令和5年度に実施した市民アンケートに「高校生など早い段階から出産や子育てに関して学ぶ機会が必要」という意見が届いたことを受けて、第1期おかざきパパマイスターの中で子育てに関する専門知識を持ったメンバーを講師とし、岡崎市内の高校にて高校生にとっては少し先の未来にある、結婚、出産、働き方に関する出張授業を実施。昨年度に続き、二度目の実施となりました。
- ▶ 日時 2025年12月5日（金）9:00~10:30
特別授業 みんなの未来家族ロールプレイ
 講師：杉山 錠士 氏（NPO法人ファザーリング・ジャパン会員）
 佐藤 光虹 氏（おかざきパパマイスター 理学療法士 産前産後ケア専門整体サロン「MamaLavie」代表）
 岩田 尊之 氏（おかざきパパマイスター 社会保険労務士 アイリンク社労士事務所 代表）
- ▶ 実施場所 愛知産業大学三河高等学校 情報処理科3年生137名が参加
 ※感染症拡大を受けて、4クラスのうち、1クラスで対面授業。3クラスはオンラインで参加しました。
 今年度は、講義のほかに、生徒同士のグループトークを実施。
- ▶ 成果 結婚したいか？こどもがほしいか？などの問いを事前と事後でアンケート調査しました。授業後はわずかではありますが、結婚やこどもに対して、前向きに考える生徒の割合が増加しました。



【事業④ 岡崎市版父子手帳制作】

【事業概要】

- ▶ 目的：男性の家事・育児参画に向けた意識を醸成するために、妊娠期からの関わりを促しなかなか知る機会がない産前産後の女性の体調や精神面などについての知識を伝える冊子を令和5年度に制作。母子健康手帳交付時に窓口で配架。令和7年度は制度面の変更や第3期のおかざきパパマイスター養成講座の内容も追加し充実を図るためリニューアルを行いました。
- ▶ 仕様 B5版 28ページ フルカラー 4000部
 発行 岡崎市 NPO法人ファザーリング・ジャパン
 協力 子育て情報サイト パパしるべ
 監修：小崎 恭弘 氏（大阪教育大学教育学部教授・NPO法人ファザーリング・ジャパン顧問）
 林田 香織 氏（ワンダライフLLP代表・NPO法人ファザーリング・ジャパン理事）
 大久保 和俊 氏（産婦人科医 玉川レディースクリニック院長 医学博士）



【事業⑤岡崎市の子育て世帯を対象としたアンケートの実施】

【事業概要】

- ▶ 目的：岡崎市内で子育てをしている男女を対象に実施。令和7年度は、家事育児の情報の入手経路や求めている情報の内容、また、困った時に相談ができるかといった内容を聞きました。また、届いた声は「おかざきこそだて会議2025」のシールアンケート形式のワークショップでも活用し、来場者に意見を聞きました。

▶ 実施概要

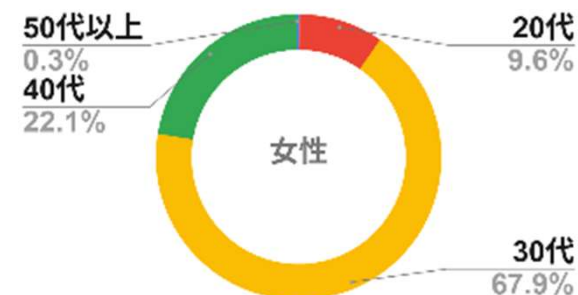
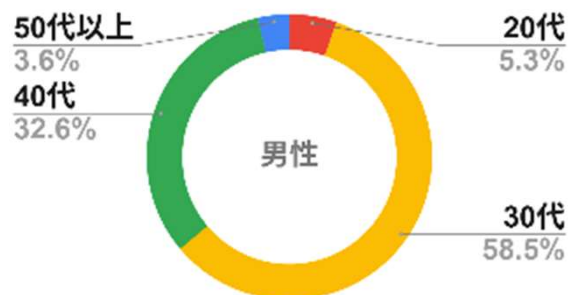
対象：岡崎市内で主に乳幼児の子育てをしている男女
岡崎市内の保育園や幼稚園、こども園を中心に案内を配布しリサーチ。

実施期間：令和7年6月～8月（配布後に順次回答）

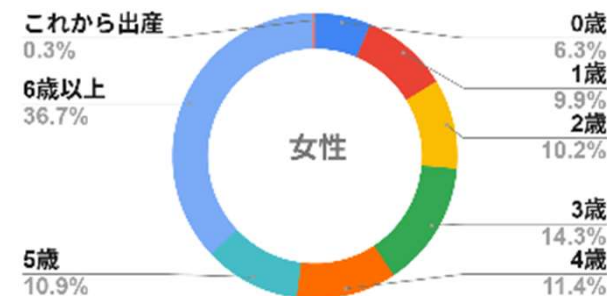
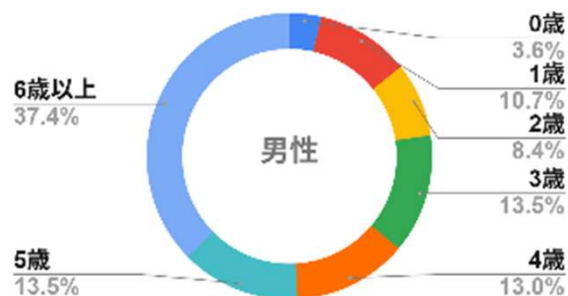
実施形式：Googleフォームを利用したWEBアンケート形式

回答概要 総回答数 1563件（男性393 女性1170）

【年代】



【第一子の年齢】



【事業⑤岡崎市の子育て世帯を対象としたアンケートの実施】

家事育児の情報の入手先

男性

1位：配偶者	87%
2位：インターネット	57.3%
3位：職場の同僚、先輩など	37.2%
4位：夫婦の親など血縁者、近親者	35.4%
5位：SNS	34.9%
6位：知人、友人	32.6%
7位：保育園などで配られるチラシなど	26.5%
8位：自治体の窓口や市報など行政関連	16.5%
9位：パパ友、ママ友	13%
10位：子育て支援施設など	10.7%
11位：育児関連書籍	9.4%
12位：地域の人たち	5.9%
13位：すくすくLINE	5.6%
14位：子育てハンドブック	4.8%

女性

1位：SNS	65.2%
2位：インターネット	60.3%
3位：知人、友人	56.2%
4位：夫婦の親など血縁者、近親者	50.1%
5位：パパ友、ママ友	45.2%
6位：職場の同僚、先輩など	32.6%
7位：保育園などで配られるチラシなど	35%
8位：配偶者	26.3%
9位：子育て支援施設など	19.8%
10位：すくすくLINE	17%
11位：自治体の窓口や市報など行政関連	15.9%
12位：育児関連書籍	12.3%
13位：地域の人たち	7.3%
14位：子育てハンドブック	6.8%

男性は圧倒的に配偶者頼りの様相を呈しているのに対して、
女性は「インターネット・SNS」が最も多く、
「近親者や友人などリアルな知り合い」が続いています。

男女のギャップが大きいのは「パパ友・ママ友」で
女性が45.2%であるのに対して、男性はわずか13%にとどまっています。
ママたちに比べて、パパたちは親同士の交流が少ないこと
また、情報を交換する関係性に至っていないことがうかがえます。

【事業⑤岡崎市の子育て世帯を対象としたアンケートの実施】

子育てイベントの情報の入手先

男性

1位：配偶者	74.8%
2位：インターネット	45.8%
3位：保育園などで配られるチラシなど	26.5%
4位：SNS	39.7%
5位：自治体の窓口や市報など行政関連	26.5%
6位：知人、友人	16%
7位：職場の同僚、先輩など	14.8%
7位（同率）：夫婦の親など血縁者、近親者	14.8%
9位：パパ友、ママ友	10.2%
9位（同率）：子育て支援施設など	10.2%
11位：すくすくLINE	5.1%
12位：地域の人たち	4.3%
13位：育児関連書籍	1.3%

女性

1位：保育園などで配られるチラシなど	57.4%
2位：SNS	56.4%
3位：インターネット	42.9%
4位：パパ友、ママ友	30.9%
5位：自治体の窓口や市報など行政関連	28%
6位：知人、友人	24.7%
7位：子育て支援施設など	16.2%
8位：すくすくLINE	15.2%
9位：配偶者	15.1%
10位：夫婦の親など血縁者、近親者	15%
11位：職場の同僚、先輩など	14.7%
12位：地域の人たち	5.3%
13位：育児関連書籍	1.3%

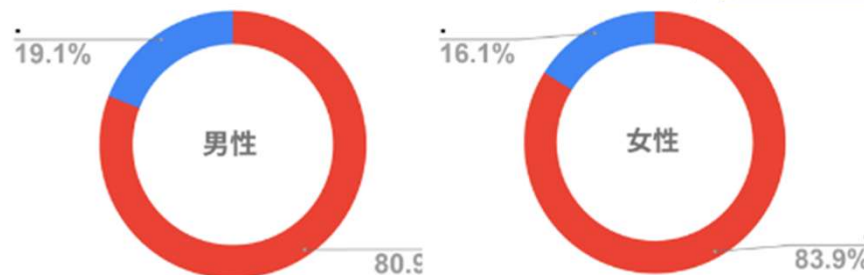
子育てイベントの情報源について、家事育児の情報同様に、
男性は圧倒的に「配偶者」に頼る傾向が見られます。

女性は「インターネット・SNS」が多いものの、
「保育園などで配られるチラシなど」が僅差で最も多く、
男性でも3位となっており、
パパ・ママ双方に届きやすい有効な手段と考えられます。

【事業⑤岡崎市の子育て世帯を対象としたアンケートの実施】

家事や育児で悩んだ時や困ったときに
気軽に相談することができますか？

● できる方だと思う
● できない方だと思う



家事や育児で悩んだ時や困ったときに
相談する相手は誰ですか？

男性

1位：配偶者	86.5%
2位：夫婦の親など血縁者、近親者	39.4%
3位：職場の同僚、先輩など	31.6%
4位：知人、友人	27.2%
5位：専門家（医師や保育士など）	16%
6位：パパ友、ママ友	9.9%
7位：子育て支援施設など公共機関	6.6%
8位：相談できる相手はいない	3.8%
9位：SNSをはじめオンラインで知り合った人など	1.5%
10位：AI・ChatGPT	0.5%

女性

1位：配偶者	73.6%
2位：夫婦の親など血縁者、近親者	69.1%
3位：知人、友人	49.3%
4位：パパ友、ママ友	36.4%
5位：職場の同僚、先輩など	26.5%
6位：専門家（医師や保育士など）	24.9%
7位：子育て支援施設など公共機関	11%
8位：SNSをはじめオンラインで知り合った人など	5.2%
9位：相談できる相手はいない	3%
10位：AI・ChatGPT	0.3%

相談できる信頼関係のある人の存在は、子育て中の精神衛生上重要です。
男女ともに「配偶者」が最も多いのはポジティブですが、
裏を返すと「配偶者に相談できない」という人が男性で約7人に1人(13.5%)、
女性で4人に1人(26.4%)いる点は見逃せません。
※男女いずれも相談相手が「配偶者」という割合を100%から引いた数値

男性は、この項目でも「パパ友・ママ友」の割合が低く、交流の少なさが際立ちます。
少数ながら「AI・ChatGPT」を相談相手とする声もあり、
新時代の訪れを感じました。

【事業⑤岡崎市の子育て世帯を対象としたアンケートの実施】

ネットで検索したことがあるジャンルTOP10

男性

1位：ケガ病気関連	74%
2位：医療機関関連	72%
3位：おでかけ関連	58.8%
4位：保育園・幼稚園・小学校関連	54.5%
5位：習い事	49.9%
6位：子育て費用関連	44.8%
7位：発達関連	42%
8位：しつけ・声かけ関連	37.4%
9位：寝かしつけ関連	36.6%
10位：離乳食関連	36.1%

女性

1位：医療機関関連	82.7%
2位：ケガ病気関連	82.5%
3位：おでかけ関連	78%
4位：保育園・幼稚園・小学校関連	73.4%
5位：離乳食関連	70.5%
6位：習い事	63.1%
7位：しつけ・声かけ関連	51.5%
8位：子育て費用関連	51.4%
9位：発達関連	49.7%
10位：寝かしつけ関連	45.6%

検索は能動的な行動なので、興味関心が表れるものです。
「ケガ病気・医療機関」「おでかけ」「保育園・幼稚園・小学校」「習い事」は男女ともに上位で
共通の興味・関心項目だと考えられます。

一方で、明らかなギャップが見られるのは「離乳食」で、
女性に多いことから興味関心の差が見られます。
また、男性の方が上位に入っている項目は「子育て費用」「寝かしつけ関連」でした。

【事業⑤岡崎市の子育て世帯を対象としたアンケートの実施】

男女それぞれの子育て情報の取得方法や状況等分析

情報取得は“女性のワンオペ”??

家事育児、子育てイベントの情報源は、男性では「配偶者」が圧倒的に多く、これは全国調査でも同様の傾向がみられます。
過去のアンケートでは、岡崎市の男性は家事や育児に関わっていることがわかりましたが、情報収集については受動的な傾向が見られました。

「男性の交流が少ない」という課題は変わらない

男性の情報源や相談相手は「配偶者」が圧倒的に多く、近親者や職場の同僚が続く結果でした。
このことから、家事や子育てについて気軽に話せるパパ友・ママ友など、プライベートな相談相手が少ない状況がうかがえます。

情報は“受け取りたい”

「どうやって情報を受け取りたいか？」という設問のフリー回答では、LINEやSNSで届けてほしいという回答が多く、“自分で探す”よりも“信頼できる情報を受け取りたい”という傾向が見られました。

現役子育て世代は、インターネットやAIを日常的に使用する一方、情報過多による検索の負担や、信憑性を見極めの難しさを指摘する声も多くみられました。

岡崎市で実施する「すくすくLINE」による情報発信については、「助かっている」「ありがたい」といった声も多数あり、利用者ニーズに合致していると感じられました。

また、保育園や幼稚園などで配布されるチラシや市政だより、回覧板などアナログな手段を望むコメントも一定数あり、デジタル以外の配信も有効な手段と考えられます。

【事業⑤岡崎市の子育て世帯を対象としたアンケートの実施】

「みんなの声でつくる！おかざきこそだて会議2025」で実施したワークショップの結果

今年度、事業外で実施した「みんなの声でつくる！おかざきこそだて会議2025」ではアンケートの結果より抜粋したコメントを会場内ホールに掲示。来場者に共感したコメントにシールを貼っていただいたり、コメントを残していただきました。

【イベント概要】

- ▶ イベントタイトル：みんなの声でつくる！おかざきこそだて会議2025
- ▶ 日時 2025年12月13日（土）10:00~15:30
- ▶ 実施場所 図書館交流プラザ りぶら（岡崎市康生通西4丁目71番地）
- ▶ 主催 岡崎市 NPO法人ファザーリング・ジャパン 運営協力：株式会社アクセルリンク



【イベントで書き込まれた意見について】

ホールで行ったワークショップでは2025年6～8月に実施したアンケートから抜粋し掲示された42のコメントに、共感シールと意見を自由に書き込んでもらいました。

共感シールが多く貼られたコメントなど、どのような声が多かったのか、傾向をまとめました。

- * 貼られたシールの数は537枚。昨年の521枚からやや増加しています。
取り組みの認知拡大とともにこういった声を届ける機会にコミットする人が定着している印象です。
実際に現場にも「シールを貼りに来た」という方が見られました。
- * 「知識や情報の受け取り方」については、子育てアンケートの結果（P10、P11参照）と同様に男女ともにHP、LINEやSNSといった**デジタルデバイスを通じた発信**が求められるケースが目立ちました。そんな中、岡崎市が実施している「**すくすくLINE**」については、**ポジティブな意見が多数集まり**これまでの実績が評価されている現状が明らかになりました。
- * 一方で、男性からは「東公園」や「南公園」「りぶら」「地域交流センター」「普段行くようなところ（コンビニ等）」、女性からは「岡崎市内の企業」「新聞や地域の広報物」「イオン、アピタなどの商業施設」「出産した病院」といった**デジタルとは対照的な、対面や紙などアナログのお知らせへの需要も多く見られました。**
- * 「今はとりあえず**生成AIに聞いてしまう**と思う」（19）という声は、今回男性から挙がりましたが時代を象徴するような声だと感じられ、おそらく今後はこういった声が増えていくと予想されます。
- * 家事育児の相談について、子育てアンケートの結果では男女ともに「相談できない」という人は2割以下と少数派ではありますが（P12参照）、**「相談できない」という人たちの声にも多数共感シールが集まった**ことから潜在的なニーズはあると考えられます。
- * 「自分の子は自分の子なので答えは出ないと思う」「相談相手の回答が必ずしも正しいとは限らないと考えている」「他の大変な家庭や育てにくい子を比較対象に出され、何も解決しない」などの声から「相談できない」という人は、**相談することで解決することへの期待感が薄い**ことが感じられました。

※次ページ以降に詳細があります。赤枠の数字は共感シールの数です。

【イベントで書き込まれた意見 抜粋】

▶ 【どうやって知識や情報が欲しいか？ 男性】

【共感シールが多かったコメント】 ※共感シール10以上抜粋

- 29 ■ 岡崎市公式でイベント情報専門のSNSとかがあると、嬉しい。〈30代男性 こども2人〉
- 19 ■ 今はとりあえず生成AIに聞いてしまうと思う。〈30代男性 こども1人〉
- 18 ■ 東公園、南公園のような公共の公園などで情報発信してくれるとキャッチしやすいし頭に残ると思う。〈30代男性 こども4人〉
- 14 ■ 地域の広報やSNSで毎月or定期的に、「りぶら」や「地域交流センター」で、複数の親と専門家で交流できる場があれば良いと思う。〈40代男性 こども3人〉
- 13 ■ 昼の食事時にLINEなど一般的に使われているアプリで。新たにアプリを増やすなどはより無駄に感じる。〈40代男性 こども1人〉
- 12 ■ 普段行くようなところ（コンビニ等）にイベント関連の情報が掲示してあると忘れにくい。地域を巻き込んでの育児、子育てしやすい環境づくりも必要かと思います。〈30代男性 こども1人〉
- 10 ■ 半強制的に聞かされる仕組みがあっても良いかも。〈40代男性 こども3人〉

【イベントで書き込まれた意見 抜粋】

▶ 【どうやって知識や情報が欲しいか？ 女性①】

【共感シールが多かったコメント】 ※共感シール10以上抜粋

- 33** ■ 得ようとした時に得られるのではなく、強制的に知れるシステムの方が良いと思います。
(今のすくすくLINEはとても助かります) 知ろうとすること自体結構カロリーいるので。 <30代女性 こども1人>
※共感コメント「生後半年まではすくすくLINEに何度も助けられました」
- 26** ■ 病院や市から発行されるものは、多くの人の手が入って信用できます。
ですから、予防接種の際であったり、接種券と一緒に今の成長段階に合った情報が届いたら嬉しい。
<30代女性 こども1人>
- 21** ■ 主に父親の目に直接触れる方が、より参加に繋がると思うので、岡崎市内の企業に直接チラシ等を持ち込んで欲しい。
母親からの言葉を聞こうとしない父親も多数います。 <40代女性 こども2人>
※共感コメント「お父さんに向けて具体的な子育ての情報が届くといいですね！」
- 20** ■ イベントやお出かけ情報はインターネットよりまとめられていて見やすいInstagramを参考にしていることが多い。
LINEで埋もれてしまうよりも 好きなときに見られた方がいいと思う。 <30代女性 こども2人>
- 20** ■ すくすくLINEでの情報が増えるといい。子育てサークルでも、LINEやチラシなどで子育てに役立つ情報の紹介があると取り入れやすそう。 <20代女性 こども1人>
- 20** ■ 新聞や地域の広報物など、母親向けにカテゴライズされた場所ではなく、広く一般に家事育児の情報が掲示されることで、母親以外の人たちにも知識をアップデートしてほしい。 <40代女性 こども1人>

【イベントで書き込まれた意見 抜粋】

▶ 【どうやって知識や情報が欲しいか？ 女性②】

【共感シールが多かったコメント】 ※共感シール10以上抜粋

- 17** ■ 市政だよりも、学校や保育園からの手紙の方がしっかりと目を通すので、学校からの手紙の方がいいと思う。
メールだと他にメッセージに埋もれてしまう可能性が高い。 <30代女性 こども3人>
- 16** ■ イオンやアピタなどの商業施設で少し相談できるイベントがあればいい。
深刻ではないが少し心配な事とかも気軽に話ができそう。 <40代女性 こども2人>
※共感コメント
・イオンに子育て支援センターがあるとよい（豊田市駅のように）
・相談内容にもよるけど、人に相談しているところを見られるのは嫌
・科学館などこどもが室内で遊べる・経験できる場所を増やしてほしい
- 16** ■ 専門家が来て、話し合いの機会があるパパマイスターのような講座形式は良い。 <30代女性 こども2人>
- 14** ■ 出産した病院でお母さん同士またはお父さん同士の交流の場や
悩んだときはこういう場が利用できるといった情報があると助かる。 <40代女性 こども1人>
※共感コメント
・産む前に、退院前に知りたいことが多い
・助産師、看護師だけではないその分野の専門家を呼んで話を聞きたい
・「のんな」さんへどうぞ！※岡崎市内で活動する子育て支援団体「共に育つおやこサークルのんな」

【イベントで書き込まれた意見 抜粋】

▶ 【家事育児について相談できない理由】

【共感シールが多かったコメント】 ※共感シール10以上抜粋

- 32 ■ 結局自分の子は自分の子なので答えは出ないと思うから。 <30代女性 こども1人>
- 18 ■ みんな忙しいし、自分も忙しい。 <40代女性 こども1人>
- 16 ■ 自己判断するため相談する必要がない。 <40代男性 こども2人>
- 16 ■ 相談相手の回答が 必ずしも正しいとは限らないと考えているため、自分で複数の書籍や専門家の意見を見て自分に合うものを取り入れている。 <30代女性 こども2人>
- 15 ■ 相談内容によるが、環境や状況をすべて知った上で 当事者の立場にたって考えていただければいいが、それらも伝えた上で思った寄り添いが無い場合に頼りにできない。本当にどうしようもならなくなったときにしかいけない。普段気軽にというレベルでは相談しない。 <30代女性 こども3人>
- 14 ■ 配偶者に相談はできるが、他の大変な家庭や育てにくい子を比較対象に出され、何も解決しない。 <40代女性 こども2人>
- 13 ■ 悩みを言葉にすること自体が難しい。 <40代女性 こども2人>
- 13 ■ 妻には『聞く前に自分で調べたら』と言われる。 <40代男性 こども1人>
- 10 ■ 同様な立場の人が身近にいない。 <30代男性 こども人>

※共感コメント「育児をしなかった上司に正論を言われる」

【事業⑥ 「パパしるべ」 記事発信】

【パパしるべ概要】

- ▶ 「これからのパパの道しるべ」を目指すパパ向け子育て情報サイト。
(運営：合同会社パパしるべ 協力：NPO法人ファザーリング・ジャパン)
- ▶ 規模 累計480万PV 月間最大68万PV (2022年6月OPEN)

【更新実績】

- ①意外と得意なパパも多い!? 岡崎市のパパたちの寝かしつけ調査
 - ②今年も始まりました! 「おかざきパパマイスター養成講座」第3期は様子が違う!?
 - ③今年にはさらにパワーアップ! 「おかざきこそだて会議」でパパマイスターとお待ちしています!
 - ④歯みがき&寝かしつけ! パパも驚く目からウロコの知識満載!
 - ⑤晴れてパパマイスターへ! パパママそれぞれの思い
 - ⑥岡崎市で大活躍! おかざきパパマイスターになったらパパたちはこう変わる!
 - ⑦岡崎市の子育て支援事業3年目! 変わったこと&変わらないこと、パパたちの傾向とは
- ▶ **総PV数：17,272 平均PV：4,318** (記事4本公開時点)

【成果を感じられたところ】

- ★おかざきパパマイスター養成講座に3年連続で定員を上回る応募が来たことは素晴らしいと感じます。また、応募者の25%が出産前のプレパパだったことは、男性の育休取得率が著しく上昇する中、男性が出産前から子育てを意識するようになった社会的な変化を象徴しているように感じます。また、1期・2期は他地区から移住してきたパパが、岡崎でのつながりを求める副次的な動機を兼ねて応募するケースが多かったように感じますが、3期に地元岡崎市出身の応募者が増えたことからより純粋に「家事育児の知識や情報を得たい」と感じるパパが増えているように感じられます。
- ★すでにおかざきパパマイスターに認定されたパパの有志が中心となって運営する「PAPATOパークおかざき」ではより多くのパパに参加してもらうためのアイデアが挙がり、積極的な姿勢が見られました。また、1期から参加し続けているメンバーも多く、コミュニティなどによる継続的な関りが持続する状況を作ることができていて、今後の活躍に期待がかかります。
- ★市長をはじめ、市職員の皆さんが積極的に、また丁寧に、ともに事業を進めてくださっていることには深く感謝申し上げます。岡崎市の子育てをより良くしたいという思いはいろいろな形で関わった多くの人に届いていると感じています。

【次年度以降に向けた課題】

- ★過去3年の中で、改善は試みていますが、今期のおかざきパパマイスター養成講座のアンケートを見ても「パパ同士の交流」に対しては、さらに求める声が届いている状況があります。おかざきパパマイスター養成講座の中での取り組み方やPAPATOパークおかざきをはじめとする事業の中でさらなる工夫ができるよう務めていきたい所存です。
- ★「パパって最高！～岡崎市版父子手帳～」については、年々内容の充実に努めていますが、次年度はより多くの方に活用していただくための施策を検討し、実施していきたいと考えています。